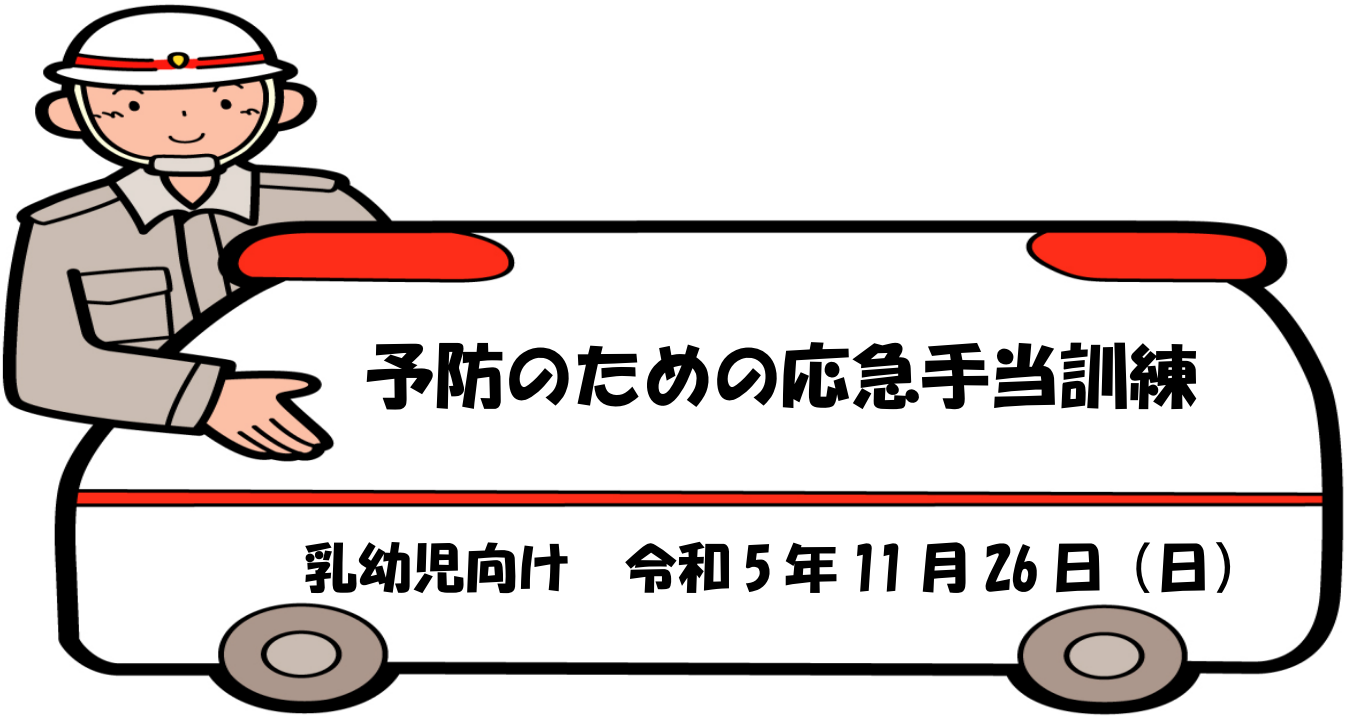


予防のための応急手当訓練

乳幼児向け　令和５年 11 月 26 日（日）

救急事故の多くは事前の予防対策によって未然に防ぐことができます。当センターでは、身近に起こる事故を予防する対策として、「予防のための応急手当訓練」を姶良市消防本部のご協力のもと毎年実施しております。

今年は、11 月 26 日（日）10：00～11：30

大人 26 名子供 13 名　合計 39 名の方に参加していただきました。

姶良市消防本部中央消防署　姶良分遣所

１部救急小隊　消防士長　下薗　友洋氏

事故の事例や予防対応策についての講義

リビングでの事故の特徴

本来、安全と思われている家庭内ですが、子どもの救急事故の多くは家庭内で発生しています

子どもは「危険と隣り合わせ」です

子どもの成長に合わせて、家庭内の環境を変えていくなど、「危険要因」を取り除く、周囲の方の配慮が必要です

事故事例

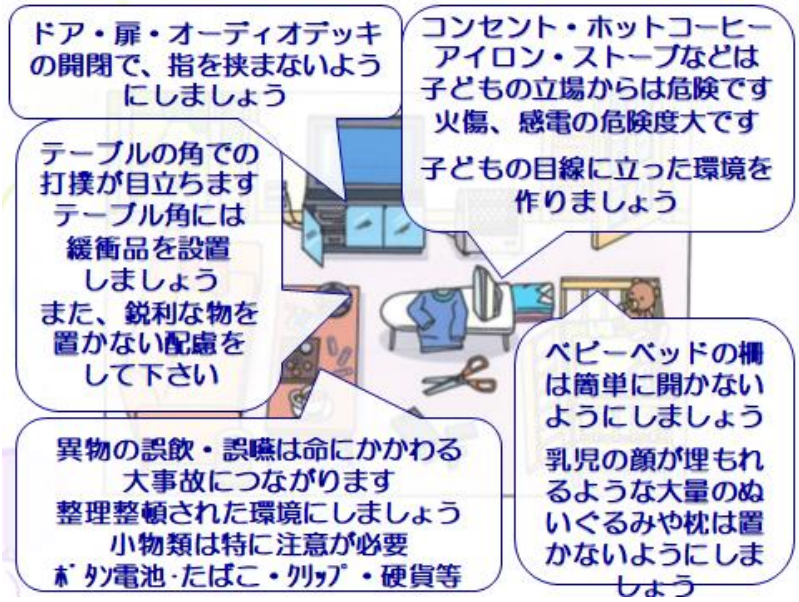
1歳男児

父親が吸ったタバコの吸殻を飲み込んで気分が悪くなり、救急隊到着時、不機嫌で泣きじゃくっていた

2歳女児

歯磨きをしながら部屋の中を走り回り、転倒し、口の中の奥を負傷

救急隊到着時、泣きじゃくり、口の中から出血が見られた



事故事例

１歳女児
母親に抱っこされて入浴中の幼児の顔が湯船に浸かり、水を多量に飲み込んだ
救急隊到着時泣きじゃくり、過呼吸になっていた

浴室は転倒、転落、溺れが多発する危険区域であることを認識してください
また、密室のために事故発見が遅れることがあります

小さな子どもがいる家庭は、風呂の残り湯、洗面器の水は必ず捨ててください
顔が浸かる深さがあれば溺水事故につながります

化粧品や、整髪料も子どもにとっては危険なものです
手の届かない場所に置くか扉にロックをかけましょう

洗剤や掃除道具を子どもが好奇心で触ることがあります
扉が簡単に開かないようにしましょう

好奇心旺盛な子どもが洗濯機の中身をのぞきこまないように蓋は閉めておきましょう
踏み台も危険です

事故事例

３歳女児
母親が目を離した隙に包丁を扱い、手を切った
救急隊到着時、指から出血が止まらず、泣きじゃくっていた

２歳男児
ポットの水蒸気に手を触れ、火傷した
救急隊到着時、手の平にⅠ度熱傷がみられた

小児科はどこ？

子どもは日曜日や夜中に発熱したり、具合が悪くなるものです。
皆さんはどのような対策をしていますか？

- 当番医の調べ方
- かかりつけ医
- 姶良市で時間外の小児救急はあるの？

小児対応可能な病院

- 鹿児島市夜間急病センター
  ０９９－２１４－３３５０
  月～土　19時から翌朝７時
  日　祝　8月14日、15日
  12月29日～１月３日は18時から翌朝７時

- 霧島市医師会医療センター
  ０９９５－４２－１１７１
  月～金　１９時30分から22時30分
  土日祝　１８時30分から21時30分

ＡＥＤを使って心肺蘇生の説明

参加者の方から「身近に起こる事に対しての講話と実技で、とてもためになりました」など感想をいただきました。

子供は大人からみると思いがけない行動や反応をする事があります。

子どもの特性と行動を知り、家庭内や身の回りのちょっとした事に注意を払い、適切な対策を講じ事故の発生を未然に防止することが重要です。

姶良市消防本部の皆様、ご協力ありがとうございました。